

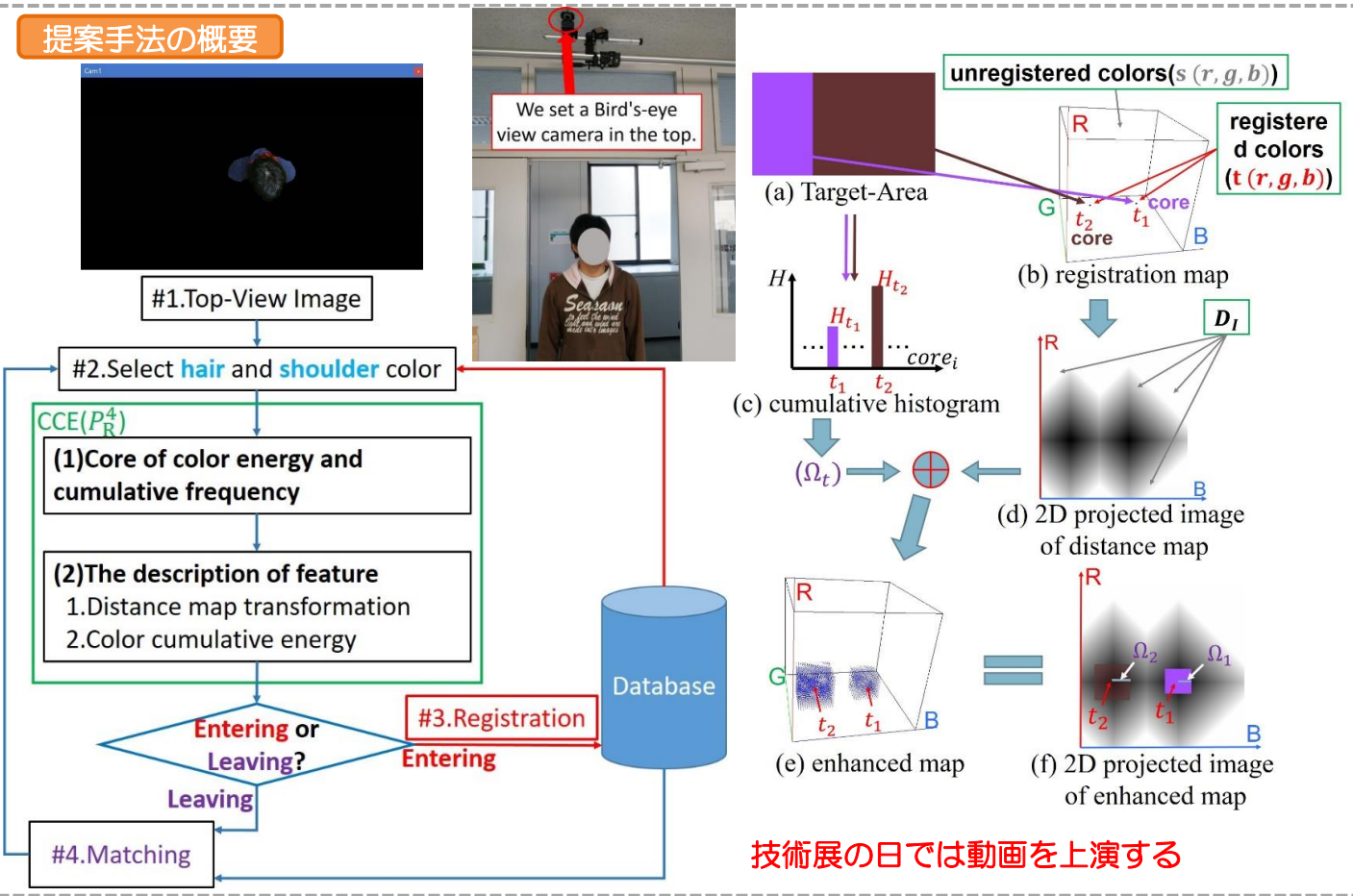
研究背景

今までの個人再認識に関する研究では、個人を特定しやすい顔・指紋・掌紋・網膜の画像が一般的に利用されている。しかし、このような画像には保護しなければならない個人情報を多く含むため、データの収集・取得には本人の同意が不可欠であり、その保管には漏洩防止策が必要である。一方、実際には、厳重に保管や漏洩防止策を施したシステムであっても記録・登録されている個人情報の漏洩が起きている。

基本アイデア

本研究グループでは、個人のプライバシーを保護するために、入り口や高い所に設置する俯瞰カメラで撮影された人物の顔が映らない俯瞰視画像を対象とする個人再認識と人物追跡に関する研究を行っている。我々は、短時間内に人物の服や髪の色は変わらないと仮定し、それらの個人特性が持つ色情報を積極的に利用することによって、従来のように人物の顔・指紋・掌紋などの個人情報を利用せず、プライバシー保護を優先する方式を実現する。

提案手法の概要



ビジョンターゲット

本研究は、Society5.0の一部として、「未来の学校支援」の実現を目指す。同じアイデアが「未来の高齢者見守り支援」の実現、公衆施設管理運営などにも貢献できる。